

市原市認知症対策連絡協議会 第17回定例会

- 日時：平成30年10月18日（木） 18:30～21:00
場所：市原市民会館 会議室棟3階 大会議室
内容：1) ミニ講演会 高齢者の通いの場事業・いちほらポイント（いちぽ）について
2) 平成31年度第3回いちほら認知症あんしんフェアについて
3) 分科会・・・各プロジェクトに分かれて検討
4) 交流グループワーク・・・RUN伴2018・2019について
参加：42名

1) ミニ講演会 高齢者の通いの場事業、いちほらポイント（いちぽ）について

市原市役所の担当課より説明

- ・「通いの場」とは、「日常的に」、「お住まいの地域で」、「地域の方々とふれあう」ことができる場のことである。市原市においても、高齢化により一人暮らしの高齢者が増加し、閉じこもりや社会的孤立により、要介護状態に陥ったり認知症の悪化させる人の増加が懸念される。市原市は週1回開催する通いの場を市内全域に普及させることを目標にしている。平成30年10月現在、市内では80団体が週1回通いの場を開催しているが、さらなる周知を進めるとともに、活動を報告し合う機会などを設けて通いの場がより具体的に「見える化」される取り組みを検討し、研究機関等とも連携してきめ細やかな分析調査も行っていく。
- ・いちほらポイント（いちぽ）は、市の様々な活動への市民参加を促進し、健康増進や地域活性化につなげることを目的とし、平成30年8月から開始した。市が指定する対象事業に参加した方や運営に協力した方にポイントを付与する。1回の参加につき25ポイント付与し、500ポイントたまると商品券と交換できる。平成30年度の対象事業は高齢者の「通いの場」と市主催の事業である。

2) 第3回いちほら認知症あんしんフェアについて

2019年4月21日（日）10時～15時

ユニモちはら台 1階イベント会場にて開催予定

前回まではYOUホールでの開催でフェアに関心のある方中心の参加だった。

第3回目は、認知症への関心がそれほどでない方へも、認知症の正しい知識や認知症の人への接し方を伝えることができるよう、商業施設で開催したい。発表を希望する場合は、10月31日までに市役所地域包括ケア推進課に申し込む。

3) プロジェクトに分かれて検討

- A 若年性認知症対策
- B 認知症サポーターの活動推進
- C 在宅介護者を支えるマニュアル作成
- D 服薬支援ネットワーク
- E 新規プロジェクト検討
- F フェスタ
- G RUN伴

H ステッカー

地域住民が気軽に認知症について相談できる場を周知するために、ステッカーを作成
掲示するプロジェクトを今回立ち上げる。

* 検討内容は、各プロジェクト議事録参照

4) 交流グループワーク RUN 伴 2018・2019 について

実行委員長より、今年度の RUN 伴について報告

来年度の実行委員長、副委員長の紹介

今年度の感想と来年度に向けての提案

- ・楽しかった。
- ・気持ちよく走れた。
- ・20km コースは、走者の間隔があいて、ボランティアの待ち時間が長かったり、給水車との連携が上手くいかなかったりした。
- ・応援する人が少なかった。昨年度の方が一体感があったかもしれない
- ・市役所を使わせてもらったのは、エアコンやトイレ、更衣など、とても有難かった。
- ・歩道の段差や坂など、コースに一考が必要
- ・一般の方への周知の仕方。通いの場で周知したらどうか。
- ・のぼりに、分かりやすいキャッチフレーズがあるとよい
- ・最後に全員でまとめがあるとよい

5) その他